

科目名	社会活動	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			総合政策学部	□必修 ■選択	
			学部	□必修 □選択	
英文表記	Social Contribution Activity	開講年次	■ 1 年 □ 2 年 □ 3 年 □ 4 年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	きむら きよし	実務家教員担当科目		修得単位	4 単位
担当者名	木 村 澄	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	さまざまな「社会活動」を通じて地域における「社会的貢献」を果たす。				
到達目標	「社会貢献活動」とは、「よりよい社会」のためにする行動のことです。そのためには、「良き市民」として果たすべき役割を自覚し、地域社会や国際社会との調和を図り、「持続可能な社会」の実現に貢献することが必要です。そうすることで、自らの「人生を充足感に満ちたものにする」ことができます。 この「社会活動」では、次の目標を達成しようとしています。 ① 社会が抱える問題を発見し、それを解決するための能力を高める。 ② ポジティブに社会活動に取り組む姿勢を養う。 ③ グループワークによる活動を通じて、人としての調和・協調性を身につける。 ④ 社会活動に向けた準備作業や実践を通じて人とのコミュニケーション能力を高める。				
授業概要	「よりよい社会」を目指す。この問題意識に対して実践的に取り組む実習です。例えば、学修した知見を子供たちにわかりやすく伝える、地域の高齢者が元気になる取り組みをする、などを自ら考え、計画し、実行する PBL（Project Based Learning＝課題解決型学習）に取り組みます。				
授業計画					
第 1 回	社会貢献活動とは、過去の活動の振り返り	第 17 回	場当たり①		
第 2 回	社会問題に対する意識、プログラムを考える	第 18 回	場当たり②		
第 3 回	社会活動に向けた準備作業計画	第 19 回	場当たり③		
第 4 回	演劇チームの顔合わせ	第 20 回	ゲネプロ①		
第 5 回	本読み稽古①	第 21 回	ゲネプロ②		
第 6 回	本読み稽古②	第 22 回	ゲネプロ③		
第 7 回	本読み稽古③	第 23 回	ゲネプロ④		
第 8 回	本読み稽古④	第 24 回	幼稚園・保育園の選定①		
第 9 回	立ち稽古①	第 25 回	幼稚園・保育園の選定②		
第 10 回	立ち稽古②	第 26 回	最終リハーサル①		
第 11 回	立ち稽古③	第 27 回	最終リハーサル②		
第 12 回	大道具の制作①	第 28 回	最終リハーサル③		
第 13 回	大道具の制作②	第 29 回	幼稚園・保育園での演劇		
第 14 回	大道具の制作③	第 30 回	幼稚園・保育園での演劇		
第 15 回	大道具の制作④	第 31 回	幼稚園・保育園での演劇		
第 16 回	中間試験	第 32 回	期末試験		
授業時間外の学習	社会活動を実施するには入念な準備作業が必須ですので、主体的かつ意欲的に取り組んでください。				
履修条件 受講のルール	実社会をフィールドに取り組みますので、大学生としてふさわしい整容・マナーをしっかりと守りながら、主体的に自己の能力を高めようとする姿勢が絶対に必要となります。				
テキスト	ポータルサイトにて適宜資料を配布します。（特定のテキストは使用しません）				
参考文献・資料	適宜配布ないし授業内で案内します。				
成績評価の方法	① 社会活動に向けた準備作業・練習への参加・取り組みの姿勢（40%）、② 実践への参加（40%）、③ レポートの提出（20%） ・上記評価項目を基にして総合的に判断します。				

	・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であることを確認するため、レポートの提出を求めます。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	毎週火曜日 14：40～16：10 ・ 木曜日 14：40～16：10 ※これ以外の時間帯でも可能な限り対応します。
成績評価の基準	秀（90～100点）、優（80～89点）、良（70～79点）、可（60～69点）、不可（0～59点）
学生へのメッセージ	ノースアジア大学の法律学科ではこれまでも、園児向けの「着ぐるみ劇」、地域の「除雪ボランティア」と「雪害調査」、「地域防災活動」、「高齢者向けの小旅行」など、さまざまな社会貢献活動に取り組んできました。これらは、「よりよい社会」の実現を目指す主体的な活動です。自らが良き市民として果たすべき役割を自覚し、地域社会との調和を図りながらその実現を目指します。そのような社会貢献活動への主体的な参加は、自らの「人生を充足感に満ちたものにする」ことに役立ちます。